

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.07

平成26年10月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 **日本赤十字社** 那須赤十字病院
Japanese Red Cross Society



診療科紹介
救急科の充実に寄せて

登録医紹介
三森医院

看護師紹介
皮膚・排泄ケア認定看護師

マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

かかりつけ医紹介相談窓口

新任医師紹介

栃木県北地域で唯一の 三次医療機関として

診療科紹介



救急科スタッフ

救急科の充実に寄せて

第一救急部長 長谷川 伸之

那須赤十字病院は栃木県北地域で唯一の三次医療機関としての役割を果たしてきました。特に、「最後の砦」としての救急患者の受け入れや治療には、地域の医師会、二次医療機関、消防機関などと連携して行ってきました。

さて、平成26年10月から、救急部と救急集中治療部とが連携・協力することにより「救急科」が充実します。これまで救急部は常勤医師2名（長谷川、飯島）で、主にドクターカーや救急外来部門を中心に診療をしてきました。一方、救急集中治療部は、外傷や疾病の中でも特に重症である患者さんの治療を、あらゆる面から同時にサポートする医師（根本、木多、實住）が各診療科と協力して担ってきました。そして、9月1日からは、芳賀赤十字病院救急部長であった林堅二医師（第三救急集中治療部長）が加わり、救急集中治療部が4名体制となったのを契機に、救急部と救急集中治療部が一つとなり救急科が充実する運びとなりました。これにより、ICU・GICU病棟19床（重症患者）と救急病棟22床（重症・中等症患者）を合わせて、他の診療科の医師たちと協力して、より高度にかつより繊細に患者さんの管理が行われることとなりました。例えば、ICU・GICU病棟では、人工呼吸器管理、血液浄化、PCPSやIABPなどの循環補助をはじめ、中心静脈や動脈ラインによる

循環管理、輸液・輸血管理、栄養管理、感染症管理など多岐に渡り治療が行われます。さらに、頭頸部外傷（脳外科、整形外科）、胸部外傷（胸部外科）、腹部外傷（消化器外科）、骨盤外傷（整形外科）、多発外傷（関連各科）、重傷熱傷（形成外科）、各種ショック（内科、外科）などの重篤な患者さんの管理も行われます。

救急患者さんは疾病や事故の発生現場から治療開始のスタートとなります。いち早く医療を開始し、連携し集中的に治療を行うかが予後の分かれ目となります。こうしたことを踏まえて「救急科」は「一丸となって患者さんの治療に専念して参る所存です。」

※1 PCPS・遠心ポンプと人工肺から成り立っていて、心臓と肺の役割を代行する機械。（人工心臓）
※2 IABP：心臓の機能が著しく低下して、拍出量が低く血圧が低下している状態の時に使用する機械。



ICU・GICU病棟にて

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている診療所の先生を紹介していきます。今回は「三森医院」をご紹介します。



三森院長

三森医院

対象疾患 内科 呼吸器科 胃腸科 循環器科 アレルギー科
小児科 外科 皮膚科
得意分野 呼吸器科 外科

先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

開業医としては、診断に苦慮する患者さんや外来管理が困難な患者さん、専門的な診察治療を必要とする患者さんなどを地域の信頼が高い那須赤十字病院へ紹介しております。検査の依頼に関しては睡眠時無呼吸症候群を疑う患者さんに対してポリソムノグラムという検査を依頼したり、狭心症の際の冠動脈狭窄を疑う患者さんに対しCTを利用した検査を依頼したりします。それらにより不要な検査や遠距離の専門の医療機関を受診をしなくても良い場合があります。患者さんの負担も少なくなり感謝しております。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

リフレッシュを含めての映画鑑賞や読書、家族とのドライブなどを楽しんでいます。

最後に地域の方々、患者さんへ一言お願いします

患者さんには最初にかかりつけの診療所を受診していただき、診察する中で日赤などの専門性が高い病院へ紹介させていただくことが医療のスムーズな流れになると考えます。かかりつけ医と日赤などの病院では地域医療の役割分担も違いますから、その点を理解していただき最初にごに受診すれば良いのかを考えていただければありがたいし結果的に患者さんの負担も少なくなり医療もスムーズに進むのではないかと思います。

患者さんと診療所・病院が一緒になって医療をどのように作り上げていくかを考えることが大切でありお互いに協力していくことが今後必要なことだと思います。

基本情報



三森医院

- 院長
三森 薫(みもり かおる)
- 住所
那須塩原市宮町1-9
- 電話
0287-62-1095
- 診療科目
内科 呼吸器科 胃腸科
循環器科 アレルギー科
小児科 外科 皮膚科
- 休診日
祝祭日・日曜日・水曜日午後



病棟におけるケアの様子②



病棟看護師とともにケアをしている川上看護師(左)①



カンファレンス実施の様子 患者さんの状態を話し合っています。

安心できる予防的・治療的スキンケアの提供を目指して、日々努力しています

皮膚・排泄ケア認定看護師 川上 小百合

皮膚・排泄ケア(WOC)認定看護師とは…

Wound:創傷

種々の創傷を有している患者さんに対し、専門的なスキンケアと創傷管理を提供します。

Ostomy:オストミー

人工肛門・人工膀胱造設に伴って生じる身体的・精神的・社会的問題を的確に把握し、専門技術を用いて質の高い看護を継続的に提供します。

Continence:コンチネンス

失禁のある患者さんに対して、個人の失禁状態に適した看護を提供します。

これら3分野において、ケアを実際に行ないながら、患者さんおよびご家族・医療チームメンバーに対し、ケア方法等の指導や教育に関わる役割を担っています。2014年7月現在で、全国に2054人、栃木県内では24人が活動しており、私は2006年に資格を取得しました。

院内・院外での仕事は…

意識障害や身体の機能障害、手術後の安静等でベッド上での生活が多くなり自力活動性が低下し、更に加齢や低栄養状態・むくみ等で皮膚障害のリスクが高いデリケートな皮膚の場合には、持続的な圧迫や摩擦・ずれが頻回に加わると褥瘡(じよくそう)が発生しやすい状況になります。そのため褥瘡対策委員会やNST(エヌエスティー)の一員として多職種と協働しながら、褥瘡発生予防・悪化予防ケアの実践・指導に関わっています。また必要に応じて、手術後等の創傷ケアの検討や実践・指導を行なっています。

家庭でできるスキンケア

1. 皮膚にぬるま湯や水を流したあと、石鹸・洗剤をよく泡立てて、皮膚を擦らずに泡のクッションを皮膚の上に広げるように優しく洗いましょう。
2. 泡が残らないようにぬるま湯や水を十分に流しましょう。
3. 柔らかいタオル等で皮膚を優しく押さえながら水分を取りましょう。(ゴシゴシと擦ると皮膚にダメージを与えてしまいます)
4. 保湿剤を使用するときには、入浴後10〜15分以内に強く擦らずに優しく塗りましょう。
5. ハンドクリーム・軟膏等を塗る時も、乾燥している皮膚より手洗い後少し湿った状態の皮膚に使用するほうが皮膚への浸透が良く効果的です。
6. オムツ使用の場合には、尿や便が皮膚に持続的に付着することで皮膚障害をおこしやすいするため、撥水性クリームを使用すると良いでしょう。

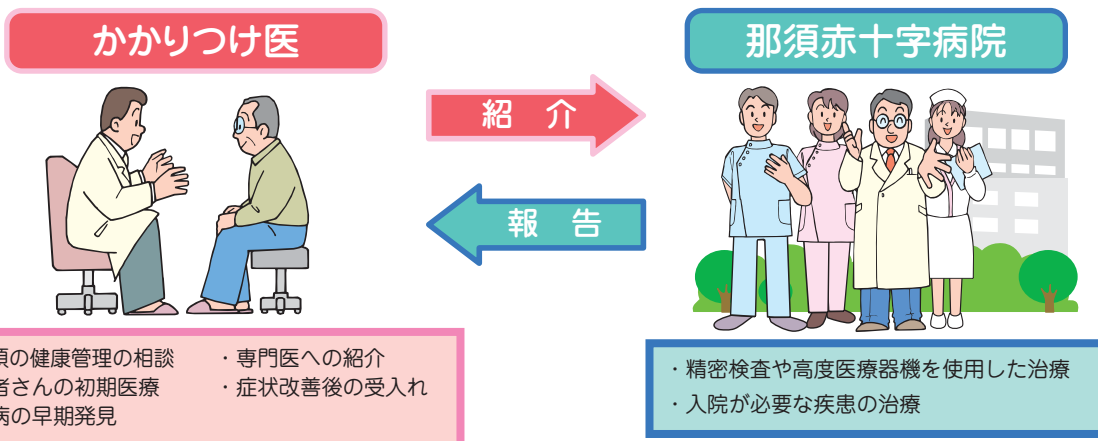
※1 床ずれのこと
※2 栄養サポートチーム

平成26年10月より 「かかりつけ医紹介相談窓口」を設置しました。

那須赤十字病院では、急性期病院^{※1}として入院患者さんの診療、手術など専門的な診療を行っています。一次診療^{※2}は地域のかかりつけ医で受診していただき、必要に応じてかかりつけ医からの紹介で当院を受診する地域医療連携を推進しております。

かかりつけ医とは

日頃の健康管理等を行ってくれる身近なまちのお医者さんのことを「かかりつけ医」と言います。専門的な検査・治療が必要と判断したときには、適切な病院を紹介してきます。



「日赤の医師から紹介された診療所やクリニックの情報を知りたい」

「自宅近くの診療所に通いたい」

など、かかりつけ医紹介相談窓口をご利用ください。患者さんのお話をお聞きし、条件にあった医療機関探しのお手伝いをします。

ご希望の方は、総合案内または受付にお声掛け下さい。

※1 急性期病院:緊急・重症な状態にある患者に対して入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する病院

※2 一次診療:医療は一次・二次・三次医療に分けられ一次は通常の外来診療、二次は入院、三次は高次医療という区分。

7月 ボランティア会員より車椅子の寄贈

車いす20台/7月8日(火)

当院のボランティア会員(※1)である、徳原 弘美様・ヨリ子様ご夫妻から車いすの寄贈があり、寄贈式を行いました。徳原さんご夫妻は、外来受診に来られた患者さんをご案内するボランティアを行って頂いています。その活動を通し、より多くの方が車椅子を使えるようにと、寄贈を決意して下さいました。現在、外来患者さんの他、入院患者さんにも利用いただいております。本当にありがとうございました。



左から徳原ヨリ子さん、弘美さん、北島院長

8月 緩和ケア病棟夏まつり

8階西病棟/8月20日(水)

入院生活の中でも夏の雰囲気を楽しんでもらおうと、8階西病棟(緩和ケア病棟)に入院されている患者さんと、そのご家族を対象に夏祭りが開催されました。

病棟スタッフによる「輪投げ」・「水風船」・「綿飴」・「かき氷」の露店が並び、嶋均三さんによる「語り部」が行われました。患者さんはもちろん、ご家族の方にも喜んでいただけました。



病棟スタッフによるかき氷の配布

第52回 日本赤十字社 東部ブロック体育大会

那須赤十字病院が当番病院として開催/8月31日(日)

日本赤十字社 東部ブロック体育大会が那須赤十字病院の所在地である大田原市を中心に開催されました。関東甲信越にある赤十字病院18施設が参加し、選手・役員・大会スタッフは総勢800人にのびりました。

当院でも、野球部・バレー部・硬式テニス・ソフトテニス・卓球部が出場し、バレー部が準優勝に輝きました。



決勝戦の様子(那須日赤vs足利日赤)

9月 キティちゃん来院

フコク生命主催による/9月11日(木)

保険会社のフコク生命さんの取り計らいで着ぐるみキティちゃんが来院し、4階東・西病棟、8階西病棟(緩和ケア病棟)、託児所ポケットを訪問しました。

子供たちは大喜び!中にはびっくりして泣いてしまう子もいましたが(笑)、終始和やかなムードで沢山の元気と笑顔をもらいました。本当にありがとうございました。



4階東病棟スタッフと

大規模災害傷病者受入れ訓練

参加人数200名/9月20日(土)

災害拠点病院として地域に貢献できるよう、市内で震度7の地震が発生した想定で、多数傷病者の受入れ訓練を行いました。

災害対策本部の立ち上げや病棟等からの被害状況報告、模擬患者さんのトリアージ(※2)と治療、救護班やDMAT(※3)の出動訓練を行いました。

職員を中心とした訓練でしたが、災害救護ボランティア、大田原広域消防の協力もあり、無事終了いたしました。



トリアージエリアの様子

ボランティア会員(※1)

那須赤十字病院でのボランティア会員数は現在36名。外来案内の他、理容、押し花ボランティア、小児病棟での読み聞かせなど、地域の方々による活動は多岐に渡ります。

トリアージ(※2)

負傷者を緊急性・重症度に応じ4区分に分類し、優先順位に従って患者搬送、病院選定、治療の実施を行うこと。

DMAT(※3)

災害急性期に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)

ハチに刺された時の対処方法

1、刺されてしまった時の応急処置

- ① その場からすぐに数十メートル離れる。(巣から離れる)
- ② 刺された傷口を流水でよく洗い流す。ハチの針が残っている場合は、つまんでそっと抜く。
- ③ 傷口周囲を爪などで圧迫し、毒素をしぼり出す。
(しぼり出しながら流水にさらすと効果的)
※注意:口で毒を吸うのは、刺されたのと同じ状況になりうるので行わない事
- ④ 抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏などがあれば塗布する。
- ⑤ 濡れたタオル等で刺された部位を冷やし、安静にする。



2、応急処置後の対応

- ① 20～30分ぐらい静かに休んで様子を見ましょう。
- ② 皮膚の腫れや痛みが気になるまたは続く時は、一般の皮膚科に受診して下さい。
※刺されたところの腫れ・痛みは、数時間～1日でなくなり、かゆみを伴うしこりが残り数日で自然に消えます。

3、こんな場合には、直ちに医療機関を受診して下さい！

- ① 刺された後に、刺されたところ以外にも発疹ができる、吐き気、発熱、息が苦しい、胸がドキドキする、目の前がクラクラする、意識がもうろうとなるなどの全身症状が出た場合。
- ② 目を刺された場合や複数箇所刺された場合。
- ③ アナフィラキシー補助治療剤「エピペン」を携帯していれば、刺されてから30分以内に躊躇なく使用(使用上の注意事項に従うこと)し、その後、直ちに医療機関を受診してください。

那須赤十字病院
救命救急センター

がん診療連携拠点病院に指定されました

平成26年8月6日にがん診療連携拠点病院に指定されました。

今まで栃木県では6病院指定されていましたが、今回の指定により当院も含め7病院となりました。次号特集させていただきますのでご期待下さい。

新任医師紹介

「わたしたちが皆さんの健康をサポートします！」
新しく那須赤十字病院で働く先生を紹介いたします。



内科 清水 昌紀



小児科 田村 元子



耳鼻咽喉科 平賀 良彦



産婦人科 中村加奈子



救急集中治療部 第三救急集中治療部長
林 堅二

10月から勤務

9月から勤務

献血に行こう!

「血液を確実にお届けするために」

～あなたの善意が患者さんの尊い生命を救います～

日時：平成26年12月26日(金)10:00～16:00(12時前後から1時間程度休憩をとらせていただきます)

場所：那須赤十字病院 時間外入口付近(献血バス)

問合せ：那須赤十字病院 社会課 ☎0287-23-1122(代)

400ml献血のご協力を
お願いします。

がんのつどい

平成26年11月1日(土)
10:00～11:00
那須赤十字病院会議室1・2
薬のこと

アドバイザー：病棟薬剤課長代理
内藤 裕之

平成26年12月1日(土)
10:00～11:00
那須赤十字病院会議室1・2
お金こと

アドバイザー：福祉係長 野中 美希
※申込不要。直接お越しください。

がんを患う方の就労に 関する個別相談会

平成26年11月1日(土)
9:30～、10:30～、11:30～
那須赤十字病院 相談室
相談員：

社労士・キャリアカウンセラー
近藤 明美先生

※完全予約制
申込先：担当(水野)
☎070-6459-8711

いきいき介護リハビリ教室

平成26年11月1日(土)9:45～10:45
那須赤十字病院2階リハビリテーション室

**「転倒予防
～自分の体を見直そう!～」**

参加費無料・
事前申込受付中
申込先・問合せ：
リハビリテーション科

第14回 市民公開講座 メディカル講座

平成26年11月1日(土)
11:00～12:30
那須赤十字病院
2階マイタウンホール
「心臓病で命を落とさないために」
循環器内科部長 矢野秀樹
「安心して医療を受けていただくために」
医療安全推進室管理責任者
狩野満里

「認知症について」
認知症認定看護師 黒崎頼子
※申込先：人事課
☎0287-23-9946

編集後記

秋には〇〇の秋と、いろいろな秋がありますね。私の場合は、やっぱり“食欲の秋”です。先日、人生初めての栗拾いに行きました。おもしろいくらいに栗が落ちていて、栗ご飯、焼き栗、茹で栗・・・と一生懸命拾ったら、家族4人で5kgほどになってしまいました。拾った栗は、全てお買い上げなので“栗づくしの秋”を満喫しました。

7階東病棟 看護師長 出崎由華

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください! プレゼント

抽選で3名様に「CroKuma救護服」
「CroKumaナース」[赤十字マグカップ]
をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・
メールにてご応募ください。

●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4
那須赤十字病院 総務課 プラタなす第7号 プレゼント係
FAX/ 0287-23-3004
宛先[総務課 プラタなす第7号 プレゼント係]
メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp
件名「プラタなす第7号 プレゼント係」
●応募締切り 2014年11月28日(金)
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



今回の表紙

7月31日深夜から8月1日まで、日光市にある男体山の登拝祭が行われ、当病院も救護活動を実施しました。当院の医師・看護師の他、日本赤十字社栃木県支部・整骨災害救護奉仕団にもご協力いただき、無事に終了しました。



左から

整骨災害救護奉仕団員、栃木県支部 鈴木事業推進課長
那須赤十字病院 星看護師、倉井看護師、根本医師

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.7

発行日 2014年10月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷